

令和5年2月（如月）

宇波公民館だより

令和5年2月1日発行

氷見市宇波公民館

氷見市宇波401番地

Tel(0766)78-1503

ふるさと石動山ゆかりの 遺跡遺物めぐり 講演会

令和5年1月22日（日）宇波公民館で、「ふるさと石動山ゆかりの遺跡遺物めぐり講演会」を開催しました。

講演Ⅰとして、灘浦沿岸域の神社宮司を務めていただいている伊勢玉神社宮司の鈴木瑞麿氏からは、「神話に見る石動山の歴史」と題して、『肯構泉達録』という江戸時代に越中富山に伝わる物語や記録を記した書物から、石動山にまつわる古代越中における神々の争いについてお話をいただきました。

次に講演Ⅱとして、能登部神社宮司で前の灘浦沿岸域神社宮司清水宣義氏の妹の清水景子氏からは、神職家に生まれて獣医という道を選んだ理由や獣医としてのやりがい、そして能登部神社及び石動山伊須流岐比古神社の宮司に就いた経緯等を、「獣医と神主」と題してお話をいただきました。

石動山と灘浦地域とは古くから結びつきがあり、毎年7月7日の石動山開山祭には、かつてのように灘浦地域の皆様に多数参詣していただきたいとのお話もありました。



ふれあいサロン脇方 開催

12月22日（木）脇方自治会館において脇方地区ふれあいサロンを開催しました。参加者は24名で、地域包括支援センター灘浦窓口の健康教室と若手警察官による特殊詐欺対策講座で、楽しいひと時を過ごしました。



2月の公民館講座

講座名	実施日
茶道	5日(日)・26日(日)
生花	13日(月)・27日(月)
100歳体操	毎週火・木曜日 (第2木曜を除く)
ぱわーきっず	9日(木) 助産師さんとおしゃべり会
瓢箪同好会	6日(月)・20日(月)
手芸講座	編み物 11日(土) クラフト 25日(土)

※新型コロナの感染状況により、急きょ休止又は再開することがありますのでご確認ください。

今月の外出支援バス
①2月3日(金)
②2月17日(金)



外出支援バスを利用したい高齢者の方は、お気軽に各地区の民生委員にご相談ください。

各集落で「左義長」催行される

新春の1月第2・第3日曜日(8日・15日)に、各集落で恒例の左義長が行われました。

「左義長」を検索すると、『年の始めに行われるお焚き上げ行事を左義長』と言い、地域によっては「どんど焼き」「鬼火」「道祖神祭り」などの名称で呼ばれており、古くなったお札・正月飾り・書初めなどを集めて燃やす、おめでたい行事』とあります。団子や餅などを焼いて無病息災を願つたり、書初めを燃やして字の上達を願ったりする所もあります。

小境



元は宮中行事として行われていたものが、時代を経ると民間にも広まるようになりました。宮中では、青竹に結びつけた書初めや扇子を、陰陽師が謡いながら焼いて悪魔払いをしたとされています。

宇波集落では、今年初めて、左義長においてた皆さんに豚汁を振る舞いました。



宇波



下戸津宮

国指定史跡「大境洞窟住居跡」

(※写真は、発見当時の遺跡と発掘調査風景)

大正7年(1918年)6月、洞窟内にある白山社の社殿改築のため地盤掘り下げ作業をしたところ、思いがけず人骨や土器などの遺跡が発見された。

これが「高岡新報」や「東京朝日新聞」で報道され、この記事を見た東京大学人類学教室の柴田常恵助手が遺跡の調査を始め、本格的な遺跡の調査へと繋がっていった。

この時の発掘調査は、柴田常恵などを中心に3回にわたり行われ、縄文土器、弥生土器などの土器を始め、石器、人骨、獸骨、魚骨などが多数出土した。これらの遺物は、重要な資料として切り取られた洞窟断面の一部とともに東大に送られ、今も東京大学総合研究博物館に保管されている。



見極められていなかった縄文と弥生の時代的前後関係を解き明かす重要な結果を残した。

参考資料: 氷見市史、氷見市立博物館「大境洞窟・朝日貝塚100年」



⑨ 開館日時 : 毎週 月・火・木・金曜日の午前9時から午後5時まで
(休館日 毎週水・土・日曜日)

※ なお、休館日でも事前にご連絡いただければ開館しますので、お気軽にご相談ください。 ☎(ファックス)78-1503 宇波公民館(荻野直樹)